事務事業執行概要

大阪府健康医療部では、府民のいのちと健康を守るため、「地域医療の充実確保」、「健康づくりの推進」「地域保健、感染症対策」「国民健康保険財政の安定的な運営」「医薬品、食品、水等の安全性確保」等の各施策に総合的に取り組んでいる。

令和元年度は、平成29年度に策定・改訂した第７次大阪府医療計画を始めとする８計画に沿って、健康医療の各分野で多岐にわたる課題に対応するための施策を着実に進めるとともに、特に、次の５つのテーマに重点的に取り組んだ。

1. 地域における効率的で切れ目のない医療提供体制づくり

地域の実情に沿った医療提供体制の構築に向け、地域医療構想の推進をはじめ、医師確保や働き方改革も含めた医療人材の確保などを一体的に進めるとともに、医療計画を補完する大阪府外来医療計画及び大阪府医師確保計画の策定を行った。

1. 健康寿命の延伸と保健ガバナンスの強化

2025年大阪・関西万博も見据え、健康づくり推進条例や受動喫煙防止条例に基づき、多様な主体の連携・協働による“オール大阪体制”による健康づくりの展開や、受動喫煙の取組みの具体化を進めるとともに、国民健康保険の保険者として市町村の保健事業への一層の支援を行った。

３．「こころの健康問題」への対策

アルコール・薬物・ギャンブル等の依存症や自殺にかかる対策を強化するとともに、大阪府ギャンブル等依存症対策推進計画の策定を行った。また、思いがけない妊娠に悩む方や虐待事例などの支援体制の構築を推進した。

1. 日常生活を支える公衆衛生の向上

　公衆衛生にかかる府域全体のセーフティネットの向上を図るため、関係施設に対する監視・指導や府民に対する啓発、地方独立行政法人大阪健康安全基盤研究所における取組みへの支援等を進めるとともに、持続可能な水道事業を構築するため府域一水道に向けた検討を進めた。

５．安全安心に向けた医療基盤の整備

前年の大阪北部地震等の経験を踏まえた災害医療体制、Ｇ２０大阪サミットや万博等の国際イベントの開催を見据えた感染症対策や外国人患者の受入れ体制を整備・強化し、安全安心な医療基盤の構築を図った。

その他、１月に発生した新型コロナウイルス感染症への対応として、府民向け相談窓口の設置や様々な情報発信を積極的に行うとともに、検査・医療体制の充実に取り組んだ。